

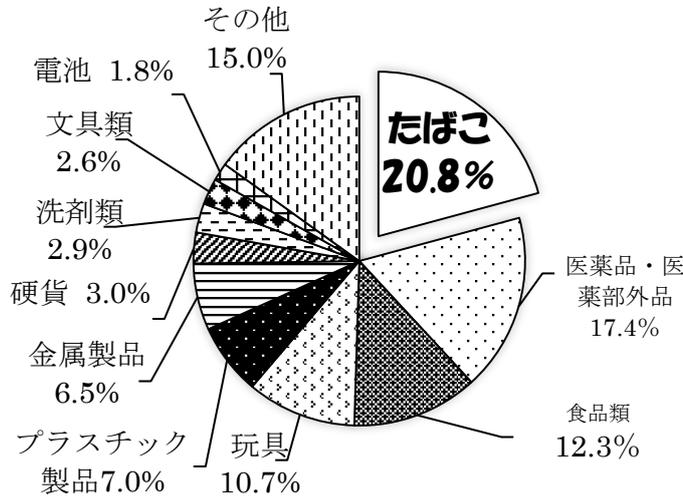
乳幼児へのたばこの害



1. たばこの誤飲に注意！

子どもの誤飲事故で最も多いのは、たばこです。誤飲した年齢の報告は、6～11 か月が最も多く、全国で197例（31.5%）、次いで12～17か月が122例（19.5%）となっています。

家庭用品等の小児の誤飲事故



出典) 2018 年度 家庭用品等に係る健康被害 病院モニター報告

主な報告事例

自宅で新品の加熱式たばこを1/2ほど食べてしまい、救急搬送（8か月児）

たばこを誤飲してしまったら、すぐに受診を！

たばこは、毒性が強く大変危険です。吐かせるのは有効ですが、吐かせるときに水や牛乳などの飲料は飲ませないでください。

（ニコチンの吸収を早める可能性があります）

2. 授乳が終わったら、たばこを吸っても大丈夫？

母親が授乳中も喫煙していると…



母乳の出が悪くなる

慢性ニコチン中毒
食欲不振
夜泣き

授乳後も喫煙していると子どもにこんな害が！

- ・ 咳・痰などの症状が出やすくなります
- ・ 気管支炎・喘息にかかりやすくなり治りにくくなります
- ・ 風邪やインフルエンザなどにかかりやすくなります
- ・ 中耳炎になりやすくなります
- ・ 乳幼児突然死症候群（SIDS）の発症リスクが上がります

たばこをやめたい！と思っている方へ



たばこをやめにくくしている原因はニコチン依存と心理的依存によるものです。

専門家の支援を受けて禁煙を成功させましょう！

◎市内には禁煙治療や禁煙相談をしている医療機関があります。

※禁煙補助薬の出荷停止により、禁煙外来を休止している場合がありますため、詳細は医療機関にお問い合わせください。

禁煙支援 八千代市

検索

◎加熱式たばこは健康に悪影響を及ぼす可能性が否定できないと考えられています。

加熱式たばこ e-ヘルスネット

検索

～禁煙支援に関する情報・ご相談は～

八千代市 健康づくり課 八千代市ゆりのき台2-10

電話：047-483-4646 FAX：047-482-9513

令和7年1月作成

